

これからのIR ～投資家との「対話」の先にあるもの～

副代表幹事
環境・資源エネルギー委員会 委員長
朝田 照男
丸紅
取締役会長



アベノミクスにおける成長戦略の一環として、昨年来、スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードが立て続けに制定・施行された。これを受け、投資家と経営者との関係は、今までとは異なる新たなステージに入った。経営者は、これまで以上に積極的にIRに関与し、自ら動くことが求められている。

これまでのIRは、投資家に対し、経営計画やその結果である決算を説明し、理解と評価を得ながら株式の購入・保有につなげてもらうというスタイルが主流であったように思う。情報開示中心のIR、あるいは株価向上のためのIRという色彩が強かった。今後もかかる活動は必要だが、これからはこれにとどまることなく、投資家と積極的かつ建設的な「対話」を重ねながら、持続的成長や企業価値向上に向けた施策に活かしていくことが重要になろう。例えば、ROE向上に向けた取り組みや、コーポレートガバナンスの強化などのテーマについて、投資家と経営者が真剣に意見をぶつけ合い、互いに切磋琢磨する。これらを通じて、持続的成長や企業価値向上が実現され、互いに果実を得るというwin-winの関係構築が望ましかろう。

思い返せば今から15年ほど前、私は一つの教訓を得た。会社の経営が非常に厳しい状況に置かれた時のことである。当時、投資家は会社に対してNoを突き付け、株価は危機的な水準にまで大きく下落した。経営計画を掲げるも未達が続く。コミットメントが守られない…投資家からの信頼がまったく得られていない状態であった。これを教訓として、その後は投資家との「対話」に注力し、自ずと投資家の目線を意識した経営を進めることとなった。投資家の期待リターンを上回る利益の追求を最重要課題とし、その課題達成に向けての制度や仕組みを種々導入することで、業績は大きく回復し、事業基盤は大幅に強化された。

言わずもがな、企業の持続的成長と企業価値向上が経営者の使命。その使命を果たすためには、企業を厳しく見つめている投資家の声に、経営者自ら積極的に耳を傾ける必要があるのは自明の理である。決して楽ではない、地道な活動だが、これが持続的成長と企業価値向上の鍵になっているのも、また事実である。

No.782 October 2015 経済同友会 10

金融問題委員会【提言】
佐藤 義雄 委員長
地域金融機関は「カタリスト・ハブ」で産業に新陳代謝を

経済連携委員会【提言】
藤森 義明 委員長
蓑田 秀策 対日投資推進タスクフォース 座長
経営者のリーダーシップで多様性が活力を生む企業と社会の確立を

Doyukai Report

全国経済同友会地方行財政改革推進会議 23
分権改革委員会 第4回会合
地方創生の課題と展望
講演：石破 茂 氏
国務大臣 地方創生・国家戦略特別区域担当

Seminar

第1253回会員セミナー 25
取締役会評価とコーポレート・ガバナンス
—取締役会の実効性を高めるために—
高山 与志子 氏
ジェイ・ユウラス・アイアール マネージング・ディレクター、取締役

19 Column

巻頭言 朝田 照男 01
「これからのIR～投資家との「対話」の先にあるもの～」

21 **リレートーク** 久野 正人 26
「『強恕』との出会い」

コペンハーゲン通信 27
「デンマークの外食事情」

福島に“ほんとの空”が戻る日まで 28
～福島大学FUREの挑戦～ 石井 秀樹 氏
「食と農の持続可能な放射能対策の実現を」

私の思い出写真館 成川 哲夫 30
「ベルリンの壁の崩壊その時」

新入会員紹介 29

今月の表紙：シリーズ国花
【マリーゴールド／アラブ首長国連邦】
原産はメキシコで、日本には江戸時代に入ってきました。聖母マリアの祭日に咲いていたことから「マリア様の黄金の花」とも呼ばれています。

C O N T E N T S

特集

震災復興支援で持続可能な地方を創る 02

Close-up提言

科学技術・イノベーション委員会【報告書】 17
野路 國夫 委員長
地域発のイノベーションを起こす仕組みの構築を